



下水道は、どんなはたらきをしているの

下水道のはたらき

わたしたちは、上水道から飲み水や、トイレ・風呂などの水を手に入れ、ふろや洗たくで使っていたらなくなった水は、下水道に捨てています。下水道は、このように、わたしたちの生活に密着しているのです。

下水道は、よごれた水を捨てることで、家庭の生活環境を守っています。また、下水道に雨水を集めて流すことで、雨水が道路や家にあふれ出ることを防ぎます。さらに、川・湖・海などの公共用水域の水質がよごれることを防いでいるのです。

下水道を利用しているわたしたちも、台所の野菜くずや、使い古しの食用油などを、直接流しに捨てないなどの、心くばりが必要です。

下水道の仕組み

家庭から出た生活排水や、工場から出た工場排水は、下水管を通じて、ちん砂池に入り、ちん砂池で砂や大きなごみを取り除きます。次に、最初のちんでん池で小さなごみを取り、おでい処理施設でゴミをすずめます。処理したごみなどを燃やし、うめたて地に運びます。さらに、最終ちんでん池で、時間をかけてごみやどろをすずめます。消毒設備を通し、水がきれいになったかどうか水質検査をして、その後、川などに放流するのです。

(監修・田代 脩)

